

第44回

# 北海優駿 (ダービー)

The Derby Week  
2016

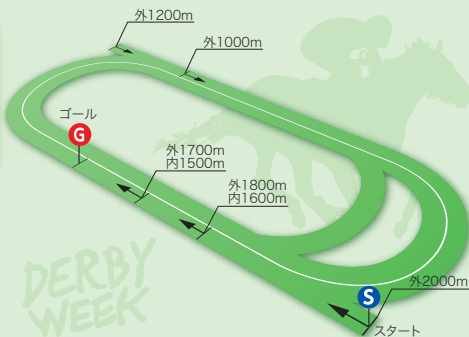
優勝賞金500万円  
(エイシンフラッシュ賞)

5/31(火)  
門別競馬場  
2,000m



北の大地で行われる北海優駿が5月に行われるのは、44回の歴史にして初めて。まだ肌寒さが残るナイトー開催だが、頂点を目指す戦いは限りなく熱い。

- 右回りコース
- 1周1600m
- 幅25m
- ダービー出走可能頭数14頭



単勝	○	枠番連復	○	馬番連復	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連復	○	重勝式	○



## ダービーにジョッキー聞く ダービーの思い出

2015 北海優駿(ダービー) [フジノサムライ] 石川 優 騎手

オヤコダカが同じ脚質なので、展開的に厳しいかなと感じていましたが、でも馬の持ち味をいかしたいとも思っていたので、うまく流れに乗ろうと考えて臨みました。スタートでオヤコダカが落馬したこと

## 注目の競走馬

### スティールキング

父	シルバーチャーム
母	グルカッシュ
母父	Machiavellian
馬主	菅野 守雄
調教師	角川 秀樹
生産者	ユートピア牧場



この世代で最初の新馬戦はハナ差2着だったが、続く2戦目で勝利を挙げて、交流重賞の北海道2歳優駿でも2着。今季初戦の北斗盃を制した実力には、引き続き注目が要だ。

### ジャストフオファン

父	バゴ
母	サバス
母父	Kingmambo
馬主	中村 善春
調教師	角川 秀樹
生産者	衛社台コーポレーション/白老ファーム



昨年6月のデビュー戦は敗れたが、9月の2戦目以降は好走続き。冬場は大井でも1勝を挙げ、しかし年明け以降は苦戦したが、門別に戻ってからの2戦は好走が続いている。

### フジパンサー

父	ペーカバド
母	キョウエイデビュー
母父	サンデーサイレンス
馬主	藤沢 和徳
調教師	米川 昇
生産者	岡田スタッド



ここまで12戦して、盛岡芝のジュニアグランプリ以外はすべて5着以内。今季2戦も善戦しており、北海優駿でも相手なりに走ってくる可能性が十分ある。

には気づかなかったですね。馬まかせで先頭に立ってもオヤコダカが来ないので「おかしいな」と思ったら、カラ馬が見えたので分かりました。そこからはチャンスというより、カラ馬に影響されないことに気がつきましたね。初のダービー騎乗で勝ったんですが、喜びたくても喜んだらいけないような、そんな気がしたので、ゴールではガッツポーズをしないでおうと思いました。

## プレイバック&データ

### 第43回 北海優駿(ダービー)(2015)

門別/2000m/9頭/2015.6.2/曇良

1	枠番	⑧	馬番	⑧	馬名	フジノサムライ			
	所属	北海道	性 齢	牝3	負担重量	56		人気	⑤
	騎手	石川倭	調教師	米川昇	タイム	2.11.9		人気	⑤

2	枠番	⑥	馬番	⑥	馬名	タイムビヨンド			
	所属	北海道	性 齢	牝3	負担重量	54		人気	④
	騎手	松井仲伸	調教師	堂山芳	着差	¾		人気	④

3	枠番	②	馬番	②	馬名	ジュエルクイーン			
	所属	北海道	性 齢	牝3	負担重量	54		人気	③
	騎手	岩橋勇	調教師	田中正	着差	1½		人気	③

4	枠番	③	馬番	③	馬名	ミオネイチャー			
	所属	北海道	性 齢	牝3	負担重量	56		人気	⑦
	騎手	井上幹	調教師	堂山芳	着差	クビ		人気	⑦

5	枠番	①	馬番	①	馬名	アルランビード			
	所属	北海道	性 齢	牝3	負担重量	56		人気	②
	騎手	宮崎光	調教師	松本隆	着差	クビ		人気	②



第43回(2015)フジノサムライ

単勝1.1倍、北斗盃を7馬身差で制し、続く古馬A1戦も6馬身差で圧勝したオヤコダカが、スタート直後につまづいて騎手が落馬する、まさかの展開。場内が騒然とするなかレースはスローペースで進み、先手を取ったフジノサムライが逃げ切った。2着には後方から差を詰めたタイムビヨンドが入り、3着にはジュエルクイーンと牝馬が上位に食い込んで大波乱。「競馬に絶対はない」と改めて思われる一戦だった。

## データ分析

※過去10年間のデータを分析

### 出走回数別成績

キャリア数	成績	勝率	連対率	3着内率
5戦以下	1-1-0-11	7.7%	15.4%	15.4%
6~10戦	4-7-6-29	8.7%	23.9%	37.0%
11~15戦	4-1-4-28	10.8%	13.5%	24.3%
16戦以上	1-1-0-12	7.1%	14.3%	14.3%

※2006年は札幌(1700m)、2007~8年は旭川(1600m)で実施

北海道は2歳馬のデビューが総じて早い傾向にあるが、北海優駿では通算6~10戦のキャリアで迎えた馬が好成績。実戦経験が少なかったり多すぎたりする馬はいまひとつだ。

### 前走の着順別成績

前走の着順	成績	勝率	連対率	3着内率
1着	6-7-3-17	18.2%	39.4%	48.5%
2着	2-2-3-9	12.5%	25.0%	43.8%
3着	2-0-1-20	8.7%	8.7%	13.0%
4~5着	0-0-2-19	0%	0%	9.5%
6着以下	0-1-1-15	0%	5.9%	11.8%

前走の着順別の成績は、やはり前走で勝利を挙げていた馬が良好だ。なお、前走4着以下から3着以内に入った4頭のうち3頭は、前走が北海道以外でのレースだった。

### 門別デビューで冬季は南関東に滞在していた連対馬一覧

年度	着順	馬名	冬季の経歴
2006年	2着	モエスリーストン	川崎に移籍
2007年	2着	ティンスクヴィル	川崎に移籍
2008年	2着	ビービーダークライ	川崎に移籍
2010年	1着	クラキンコ	大井に移籍
2011年	1着	ピエールタイガー	大井に移籍
2012年	1着	ニシノファイター	南関東で3戦
2013年	1着	ミータロー	大井に移籍
2014年	1着	ヤマノミラクル	大井に移籍
2015年	2着	タイムビヨンド	大井に移籍

晩秋から春先まで開催されないホッカイドウ競馬。北海優駿では、その期間に南関東に滞在していた馬が、2009年を除いて1頭だけ連対しているというデータがある。